

**近畿自動車道紀勢線
「すさみ～太地」
計画段階評価
意見聴取結果**

国土交通省 近畿地方整備局

平成24年8月1日

目次

1. 意見聴取の概要	1
2. アンケートの広報の状況	3
3. 調査結果のまとめ（案）	4
4. アンケート結果	5
5. 地域代表者ヒアリングの結果	13
6. アンケートの結果報告（速報版）	15

1. 意見聴取の概要

・意見聴取はアンケート及び地域代表者ヒアリングなど、以下の内容を実施した。

●意見聴取の概要

実施項目	実施期間	回答方法	実施概要	回答状況
地域住民アンケート	平成24年6月16日(土) ～7月1日(日)	①郵送回収	21,078世帯中12,543世帯(無作為抽出)への郵送配布・回収	有効回答数:6,623 (回収率53%)
		②投函BOXによる回収	各町役場等に投函BOXの設置	有効回答数:921
		合計有効回答数:7,544		
道路利用者アンケート	平成24年6月23日(土) ～7月1日(日)	①インターネットでの回答	WEBモニタ会員を対象としたWEBアンケートを実施	有効回答数:517
		②道の駅での聞き取りアンケート	吉備湯浅PA、印南SA、道の駅(椿はなの湯、志原海岸・イノブータンランドすさみ・なち)で聞き取りアンケートを実施	有効回答数:589
		合計有効回答数:1,106		
事業所・トラック協会会員企業アンケート	平成24年6月16日(土) ～7月1日(日)	郵送回収	和歌山県すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町、太地町にある事業所[3,494事業所中1,997事業所]への郵送配布・回収	有効回答数:1,377 (回収率56%)
			和歌山県トラック協会会員企業[482事業所]への郵送配布・回収	
地域代表者ヒアリング (自治体、経済・産業、物流、観光、医療、消防関係者及び町が地域代表として推薦いただける方(関係自治体の推薦により選定))	平成24年6月22日(金) ～7月2日(月)	ヒアリングによる意見聴取	4会場で地域の代表者へのヒアリングを実施 ①すさみ町:6月26日(火) 参加者24名 ②串本町:6月26日(火) 参加者21名 ③古座川町:6月22日(金) 参加者20名 ④那智勝浦町・太地町:7月2日(月) 参加者那智勝浦町13名、太地町9名	参加者:43組織 87名
地域代表者ヒアリング (広域的な観点からの代表者)	平成24年7月3日(火)～ 7月26日(木)	ヒアリングによる意見聴取	近畿圏域、和歌山圏域の地域を代表する企業等へのヒアリングを実施。	10組織13名
地方自治体への意見照会	平成24年7月3日(火)	文書による意見照会	すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町、太地町への意見照会	
和歌山県への意見照会	平成24年7月30日(月)	文書による意見照会	和歌山県への意見照会	

2. アンケートの広報の状況

インターネット及び役場等へのポスター掲示・ビラの配布、テレビ放送により、アンケートの広報を実施した。

●インターネットによる広報

◆アンケート実施の案内を掲載したホームページ

- ・近畿地方整備局 ・紀南河川国道事務所
- ・和歌山県 ・すさみ町 ・串本町 ・古座川町
- ・那智勝浦町 ・太地町

近畿自動車道紀勢線『すさみ～太地』の計画について みなさんの意見を伺います

今回のアンケートは、近畿自動車道紀勢線「すさみ～太地」の計画策定にあたり、みなさまのご意見をお聞かせ頂き、道路の計画に反映するために行います。

近畿自動車道紀勢線とは

近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市から、和歌山県を經由して三重県多気郡多気町に至る全長 335km の高速自動車国道（自動車専用道路）です。現在、和歌山県・三重県の両側から事業が進められています。

『すさみ～太地』区間は、すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町を通り、大阪方面～和歌山県南部地域～名古屋方面を繋ぐ重要な区間です。



- アンケートは、和歌山県南部地域（すさみ町・串本町・古座川町・那智勝浦町・太地町）在住の方に、無作為で抽出した約 13,000 名の方に郵送で配布されます。お手元にアンケートが届いた方は、アンケート用紙にご記入の上、同封された返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストへの投函をお願いします。
- アンケートが届かなかった方で、アンケートにご協力していただける方は、お手数ですがお近くの市役所・町役場・支所にあるアンケート用紙にご記入の上、回収BOXに投函して下さい。
- アンケートの締切はいずれも平成24年7月1日までとさせていただきます。

お問い合わせご意見は下記までお寄せください。
国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査第二課

〒646-0003
和歌山県和歌山市中万呂142
TEL 0739-22-4614 (直通)
FAX 0739-22-4574

●ポスター掲示・テレビ放送による広報

◆ポスターを掲示した箇所

- ・町役場、支所等にポスターの掲示及び沿線自治体に回覧ビラを配布した。

○すさみ町役場



◆テレビ放送

- ・テレビ和歌山にてアンケート協力依頼を行った。

○和歌山県広報番組



3. 調査結果のまとめ(案)

◇アンケートの回収率について

- ・郵送配布したアンケートの回収率は約50%であった。

◇現状の道路について

- ・対象地域においては、台風や豪雨等の災害時に地区が孤立してしまうこと、国道42号の代わりとなる道路が無いことへの不安を感じる声が多い(約9割)。
- ・高度な医療ができる病院が遠いことへの不安感も多い。実際、搬送時間に時間が掛かり、治療が遅れて対応できないといった声もある。
- ・対象地域には高速道路が無いため、他地域への移動時間がかかることに不満を感じている。

◇災害時に強い道路の必要性について

- ・災害に強く、時間短縮効果のある新たな道路を求める声は全体の約96%を占める。

◇整備効果について

- ・観光やレジャーで来訪機会が増えると思うという道路利用者が多い。
- ・期待する効果は「災害発生時の物資輸送や復旧の支援」、「国道42号の通行止め時に代わりとなること」、「高度な治療が可能な病院への搬送時間短縮」、「周辺地域への所要時間短縮・スムーズな移動」であり、いずれも95%程度の人たちが期待している。
- ・移動時間短縮により物流がスムーズになる。
- ・所要時間の短縮やスムーズな移動の確保による、地域振興、観光振興への期待があるが、一方で、高速道路整備による景観破壊や、観光客が地域に降りてくれず通過してしまうのではないかな等の懸念の声がある。
- ・京阪神からの企業流入や企業誘致が期待できる。

◇ルート帯について

- ・配慮すべき事項においては、「災害時に物資の輸送や復旧するための道路として利用できること」、「スムーズに移動できること」、「早く開通できること」と回答された方が約9割以上、「津波発生時に高台への避難場所として利用できること」と回答された方が約9割と多く、また、自然環境、歴史的・文化的遺産(景観)、整備費用を少なくすることにも配慮することも求められた。
- ・大規模地震時における大津波による道路被害を懸念する声がある一方で、避難場所としての機能や救助・復旧支援機能を有するため、また日常的な利便性を確保するため、集落にルートを近づけることが求められた。

◇IC配置について

- ・インターチェンジの配置検討の配慮すべき事項においては、「主要な道路に取り付いていること」と回答された方が約9割、「市街地・病院・消防署に近いこと」と回答された方が約8割であった。
- ・また沿岸部の市街地・集落だけでなく、内陸部へのアクセスにも配慮することが求められた。

4. アンケート結果

(1)対象道路の現況と課題について

- ・全ての設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」が全体の約9割の回答となった。
- ・自由意見としては、「整備に関する意見」が多い。

●Q1:対象地域[※]の道路について、あなたはどのように思われますか？

※対象地域:すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町、太地町

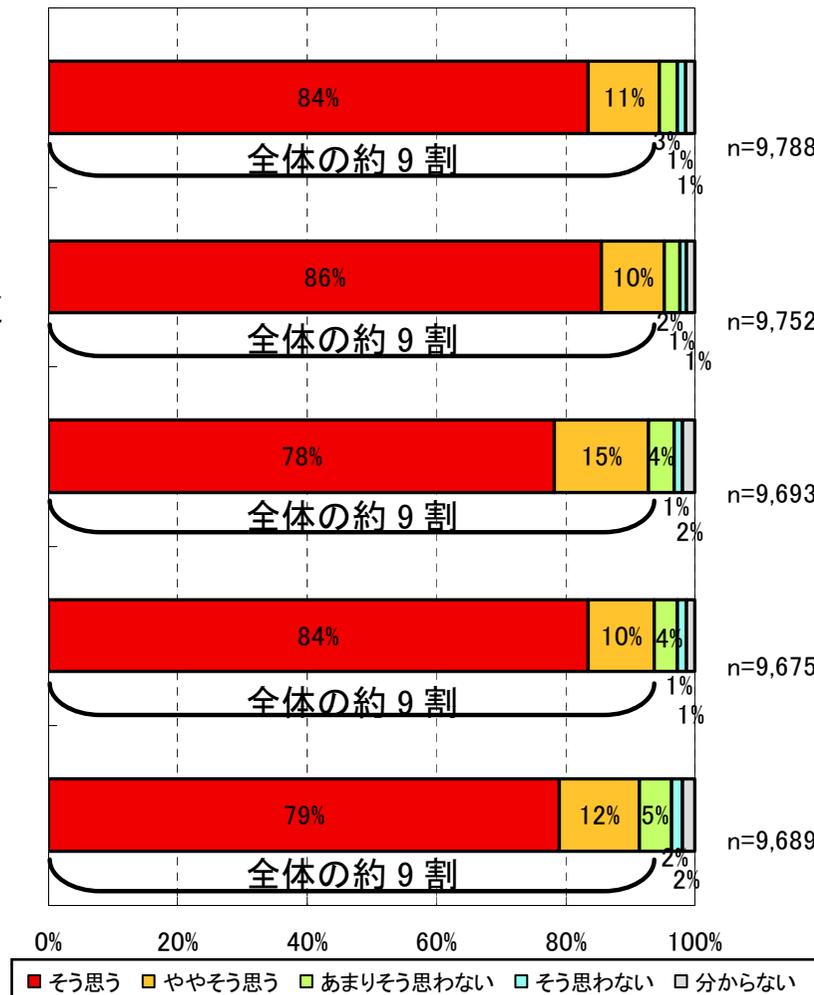
①台風や豪雨等の異常気象時に国道42号が通行止めになり、地区が孤立することに不安を感じる

②災害時に国道42号の代わりとなる道路が無く、不安を感じる

③高度な治療ができる病院が遠く、重病になった時、不安を感じる

④高速道路が無く、移動に時間がかかる

⑤国道42号は、カーブが多く走りにくい



○自由意見(抜粋)

【整備に関する意見】

- ・大阪、名古屋などの都市圏への時間がかかりすぎる為、早期実現を願います。
- ・通行量が少ないのに不必要な道路。

【走行性・安全性に関する意見】

- ・道幅の狭い所や制限時速40km、50kmの所も多く、移動時間がかかります。
- ・月一回京阪神方面へ行きますが、時間がかかり大変です。年齢が増してくると不安です。
- ・国道42号は、景色も美しい良い点も色々ある。
- ・年末、年始、ゴールデンウィーク、お盆など国道が渋滞して町内の移動が大変である。
- ・自宅より田辺の病院迄時間がかかります(国立病院、紀南病院)。

【災害に関する意見】

- ・昨年の台風12号の被害では、山くずれによる道路通行止が多くあった。高速道路にこだわらず、道路の整備を考えてほしい。
- ・毎年台風シーズンになりますと、国道42号線が通行止めになるので、とても不便です。

【その他】

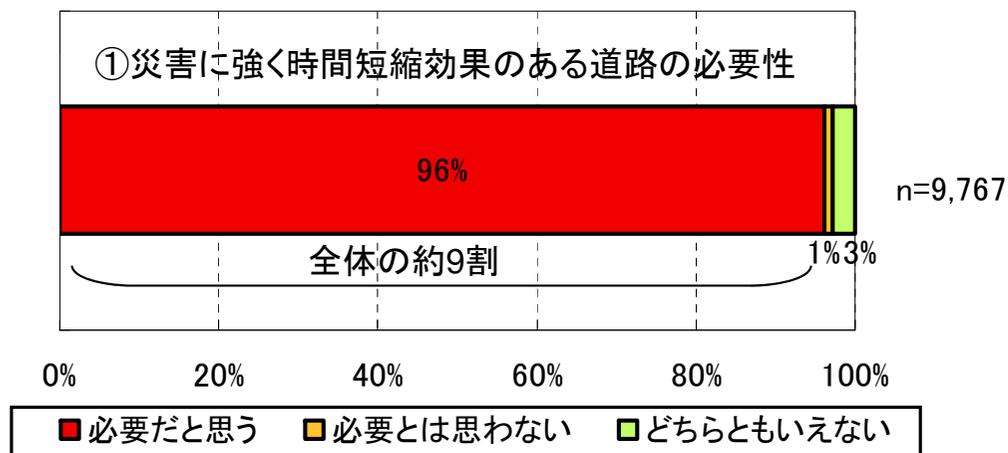
- ・道路事情が悪く、高速道路がないことにより企業が来てくれず、働く場所がない為、若い人が都会に出て行き過疎の原因にもなっている。

4. アンケート結果

(2) 災害に強く、時間短縮効果のある道路の必要性について

・災害に強く時間短縮効果のある道路は必要だとの回答が、全体の96%となった。

●Q2: 災害に強く時間短縮効果のある道路は必要だと思われませんか？



4. アンケート結果

(3) 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)の整備効果について

- ・全ての設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」が全体の約9割の回答となった。
- ・自由意見では、「所要時間短縮に関する意見」と「災害に関する意見」が多い。

●Q3: 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)が整備されることにより期待される効果として、あなたはどのように考えますか？

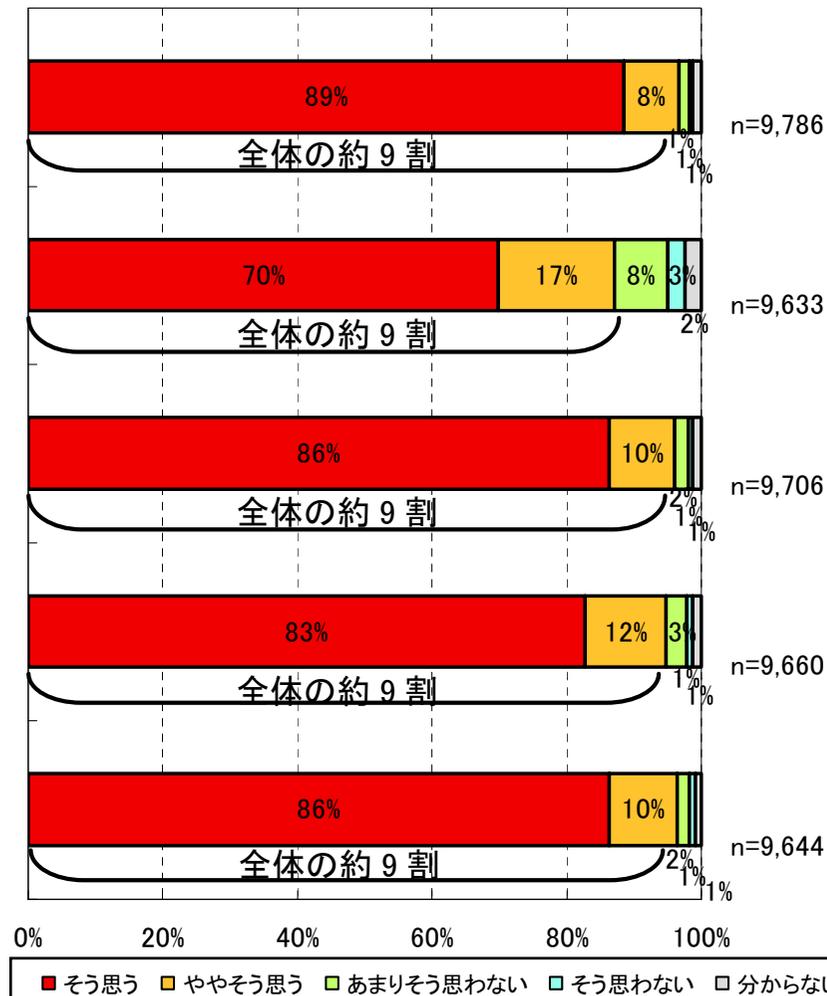
① 災害発生時に救助活動や物資の輸送、復旧するための道路として機能する

② 津波発生時に高台への避難場所として機能する

③ 異常気象時等により国道42号が通行止めの時に、代わりとなる道路が確保される

④ 高度な治療ができる病院への搬送時間が短縮され、救命率の向上が期待される

⑤ 所要時間が短縮され、スムーズに移動できる



○自由意見(抜粋)

【所要時間短縮に関する意見】

- ・通行時間が短縮されることが一番ありがたい。
- ・串本町から新宮や田辺の病院まで1時間以上かかるのが短縮されると、すごく便利で救命につながる。
- ・大阪、名古屋圏と直結できれば観光産業等低迷状態を脱し、活性化が図れる。

【災害に関する意見】

- ・益々高齢化が進む中で、救急車が毎日の様に搬送されているのを目に致します。一日も早く完成し、地震や津波に強い、災害に強い道路をお願いします。
- ・災害発生時に、救助活動や物資の輸送、復旧道路として機能する。
- ・避難道として利用できる様にICとその付近に駐車場が出来ると良いと考える。
- ・自然災害により通行止めとなる現況のR42に、代わり得る道路は必要である。

【効果を期待できないとする意見】

- ・高速道路が良いが、スロー現象にならぬように配慮すべきです。
- ・自動車道へのアクセスが悪ければ、期待する効果はどれも実現できない。地域から道路へのアクセスが重要

【その他】

- ・那智勝浦新宮道路が完成し、専用道の利便性、安全性を実感しています。
- ・片側2車線でないと渋滞になると思います。

4. アンケート結果

(4) 紀勢線(すさみ～太地)のルート検討に配慮すべきこと

- ・全ての設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」が全体の8割以上の回答となった。
- ・自由意見では、「整備に関する意見」が多い。

●Q4: 近畿自道車道紀勢線(すさみ～太地)のルートを検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

① 災害時に物資の輸送や復旧するための道路として利用できること

② 津波発生時に高台への避難場所として利用できること

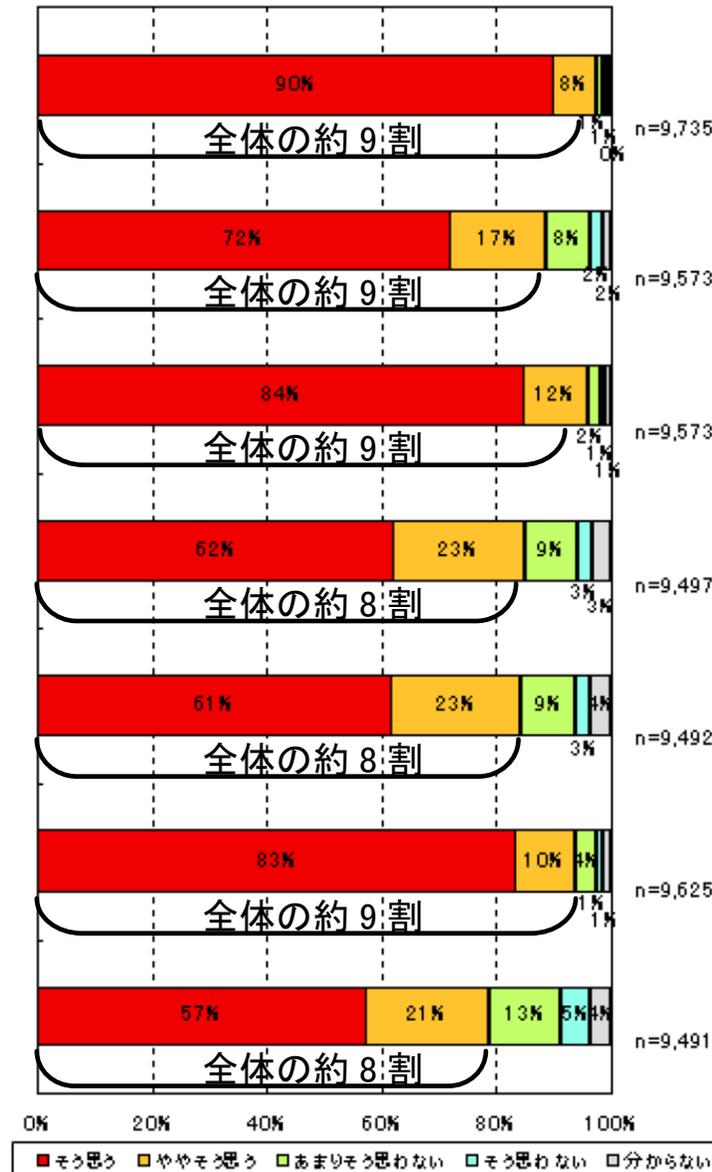
③ スムーズに移動できること

④ 自然環境への影響が小さいこと

⑤ 歴史的・文化的遺産(景観)への影響が小さいこと

⑥ 早く開通できること

⑦ 整備費用を安くすること



○自由意見(抜粋)

【整備に関する意見】

- ・JR紀勢線も国道42号線と共に低い地に路線があり、台風津浪等の災害を受ける事が多い、高速道の日も早い完成を。
- ・特に42号線から新設道路に行くためのルートも、考慮が必要と思われます
- ・できるだけ急カーブや急勾配の区間を少なくして、トンネル等で直線を多くしてほしい。
- ・出来るだけ整備費用を安くおさえてほしいと思います。

【災害に関する意見】

- ・災害時使用出来るだけの強度。
- ・津波水害のない高台を選ぶ。
- ・費用を安くした為、災害発生の時くずれたら困ります、安全第一です！
- ・永久に使用するに耐えられるように費用が多少高くても、耐震等全ての面で万全なものを希望する。

【景観・環境に関する意見】

- ・先祖が大切に守り育ててきたすばらしい紀南の景観を、次世代に残せるように配慮をお願いします。
- ・吉野熊野国立公園の地域にあり、環境に配慮した設備が必要だと思います。
- ・観光ルートが開ける。活気が生まれ元気になる。

【ルート位置に関する意見】

- ・山中を通る高速道路より、海岸を走る高速道路を期待する。
- ・なるべく山側(山間部)を通して、限界集落の事も考慮して欲しい。

【その他】

- ・将来2車線(片側)を見込んでの計画を望む。
- ・工事に当たり地元住民への配慮を行い、工事をスムーズに進める事。自然の物に手をくわえるのですから。自然環境はしかたないと思います。

4. アンケート結果

(5) 紀勢線(すさみ～太地)のインターチェンジ配置検討に配慮すべきこと

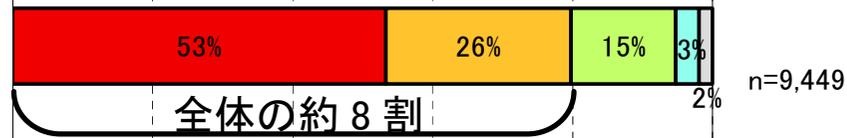
- ・「市役所や役場に近いところ」を除く設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」が全体の8割以上の回答となった。
- ・「市役所や役場に近いところ」の設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」は約6割であった。

●Q5: 近畿自道車道紀勢線(すさみ～太地)のインターチェンジ設置を検討する際、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

① 主要な道路に取り付いていること



② 市街地に近いところ



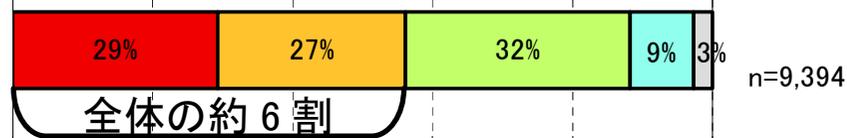
③ 病院・消防署に近いところ



④ 国道42号にできるだけ近いところ



⑤ 市役所や町役場に近いところ



0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

○ 自由意見(抜粋)

【利便性に関する意見】

- ・できるだけインターチェンジを多く設置して、各地域の利便性を高めてほしい。
- ・踏切りを通らなく、42号線から入れる場所。
- ・病院に行きやすい所だったらいいですけれど。
- ・特に人口の多い市役所や、町役場に近い所に設置すべきと思う(インターチェンジ間の距離に関係なく)。
- ・交通渋滞になる様な場所はさけるべき。

【災害に関する意見】

- ・国道42号線が冠水した時の事を考えると、できるだけ高い位置が望まれる(災害の時)。
- ・災害がいつくるかわからないので、出来るだけ早く設置してほしい。
- ・市街地に近く、津波被害を受けない高台へ。
- ・国道42号は低い所にあるので、離れて高い所に作ってほしい。市役所や町役場も低い所にあるので、遠くても高い所の方がよい。
- ・迅速な救援活動や復旧活動を考えると、主要な道路に取り付いている方が望ましいと思う。

【地域活性化に関する意見】

- ・地域の活性化も視野に入れて欲しい。

【その他】

- ・住民への騒音、振動を考慮して欲しい。
- ・少々市街地から離れていてもかまわない。

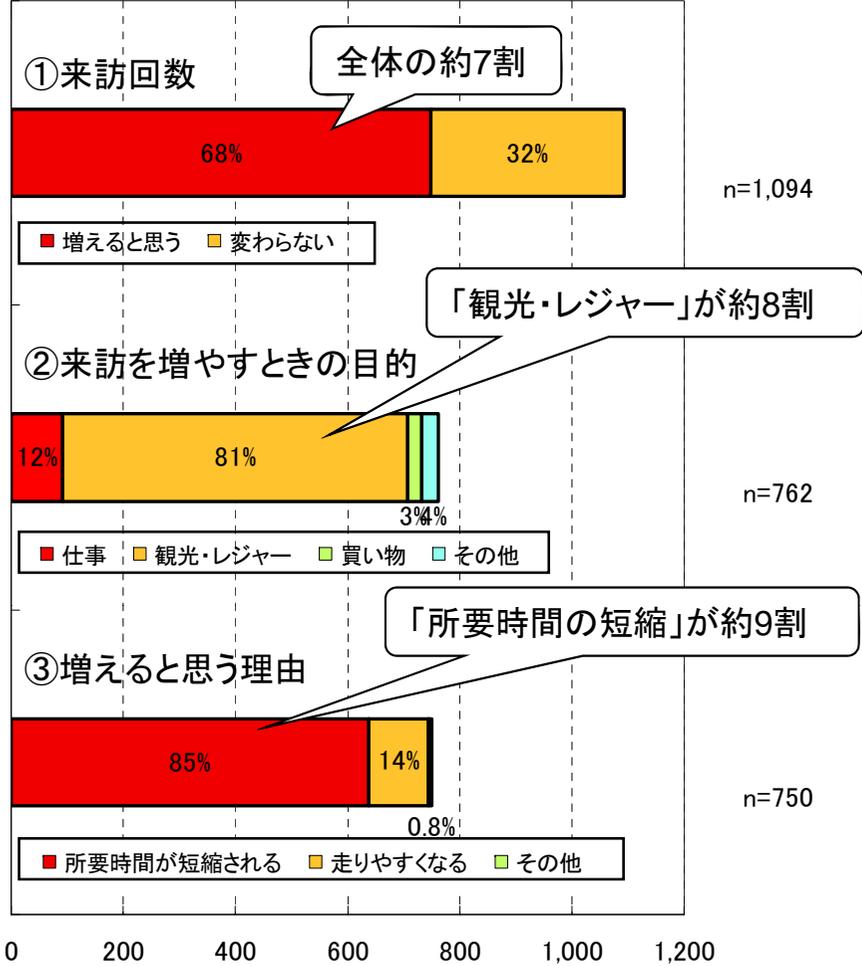
4. アンケート結果

(6)近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)が整備された場合の来訪状況について (対象は道路利用者(webアンケート、道の駅での意見聴取)のみ)

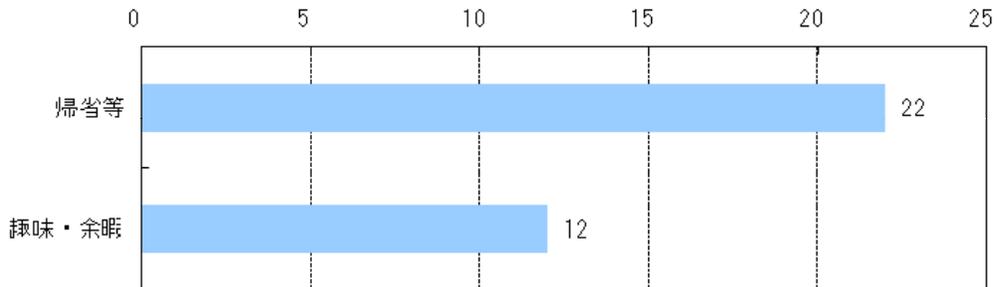
- ・「来訪回数が増えると思う」が約7割である。
- ・来訪を増やすときの目的は「観光・レジャー」が約8割である。
- ・増えると思う理由は「所要時間が短縮される」が約9割である。

●Q6: 近畿自道車道紀勢線(すさみ～太地)が整備された場合、対象地域[※]への来訪を増やそうと思いませんか？
(対象は道路利用者のみ)

※対象地域:すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町、太地町

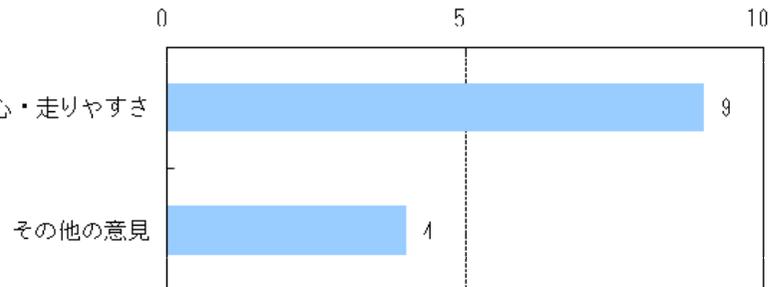


○来訪を増やすときの目的のその他意見



有効回答数=34

○増えると思う理由のその他意見



有効回答数=13

4. アンケート結果

(7) 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)が整備された場合の企業活動への影響・期待 (対象は事業者のみ)

・時間短縮の効果を期待する意見が最も多い。次いで、災害に関する意見が多い。

● Q7: 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)が整備された場合、企業活動への影響・期待

● 自由意見(抜粋)

【時間短縮に関する意見】

- ・早く着工、完成を望みます。県内外の方々に、紀南地方のすばらしい環境を観てもらいたい。その為には、移動時間が短くて済むように配慮すべきと思います。
- ・我々運輸業者にとっては、開通により時間短縮されることが一番期待している所です。早期の開通をお願いします。
- ・串本、田辺の仕入れに行く時間が早くなる。反面、田辺、串本等へ早く行けるようになると、お客さんが行ってしまう心配がある。
- ・便利になることで観光客や帰省客も増え、その分消費が増えて店の売上も増えることを期待している。
- ・他府県への移動が容易になり、セールスチャンスが増える。
- ・所要時間が短縮され、物流がスムーズになる。(1日当たりの運送回数の増加)
- ・輸送時間が短縮し、乗務員の総労働時間が短縮されることによって過労運転時、事故防止になる。
- ・京阪神からのアクセスがよくなり、企業誘致も期待できるのではないか。

【災害に関する意見】

- ・現在の道路(国道)は海岸の近くに位置しているため、津波等の災害時弱いと思われるので、もう一本の道路があれば災害対策に非常に効果があると思う
- ・現在では、新宮市方面へは国道311号を利用していますが、台風等で通行止めが多いため、高速道路の整備により311号と高速との併用ができる。

【影響なし・期待なし】

- ・南紀方面への仕事がない為、影響等はないです。

【その他】

- ・和歌山の京奈和道路は一部開通だが、無料で本当にありがたい。紀勢線もぜひ無料開放してほしいと心から願う。
- ・移動時間が短縮されるという点で良いと思うが、ある程度大阪方面からの企業流入があるはずなので、少なからず悪影響(当該地域)はあると思う。

4. アンケート結果

(8)自由意見

・自由回答欄に書かれた回答では、整備に関する意見が最も多い。

●Q8:その他、近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)についての意見・要望

●自由意見(抜粋)

【整備に関する意見】

- ・防災の道、命の道の実現を一日も早く希望します。
- ・大都市間を結ぶための高速道路ではないため、時間短縮を最優先させる必要はない。
- ・新宮と勝浦間にももう一ヶ所ICほしいのでなるべく多くICを作してほしい。
- ・片側一車線は産業用車両の走行中などで大変不便を感じる。複車線へ善処をお願いします。
- ・道路が完成しても経済効果は期待出来ないと思う。交通の便が良くなると旅館や商店の客が減り、逆にゴミが増えるのではなかろうか
- ・国道42号線以外の回り道がない状態できているので、自動車道を始め他にも道路を作る事を考えてもらいたい。
- ・地質調査など万全にして下さい。活断層など、安全、安心な道路を造って下さい。
- ・整備費用をできる限り安くすること

【災害に対する意見】

- ・大阪や和歌山へ行く時、時間がかかり都心の医者にかかるのが便利になる為、早くできてほしい。台風や大雨で通行止めが多いので期待している。

【地域活性化に関する意見】

- ・世界遺産、熊野三山をはじめ、マグロの基地勝浦。観光資源を最大限に生かして行く為には、国道42号線1本では寂しすぎます。1日も早い陸の孤島化を解消して頂く為にも、近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)を着工して頂ける事を、心よりお願いいたします。
- ・高度な医療施設への時間短縮を望んでおります。串本～田辺間、串本～新宮市の間や地場産業の活性化また観光等の活性化になると思います。

【その他の意見】

- ・地元の近、中距離移動道路として、無料区間であることを希望します。
- ・大型トラックの運行が多くなると思うので、子供達の安全には充分注意をお願いします。

5. 地域代表者ヒアリングの結果

(1) すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町、太地町の代表者の意見

- ・アンケート調査では把握できない地域住民等のニーズをきめ細かく把握し、今後の計画を検討する際に参考とすることを目的に地域代表者へのヒアリングを実施。
- ・ヒアリングはすさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町・太地町の4箇所で実施し、各会場約20～25名が参加。

●ヒアリングでの意見(抜粋)

【対象地域の道路の課題】

- ・JA紀伊南では、広域合併により、地域を跨いでスタッフが通勤している状況にある(すさみ町)
- ・現道はカーブが多く、追い越し禁止箇所が少ないため、交通事故を誘発しやすい(串本町)
- ・古座川から大病院までの搬送に時間がかかり、治療が遅れて、対応できない(古座川町)
- ・医療の細分化・高度化となっている反面、当地域は医師不足となっている(那智勝浦・太地町)

【紀勢線が整備されることにより期待される効果】

- ・救命は1分1秒を争うものであり、病院間の連携や現在不足している医療スタッフも通勤が1時間圏で可能となれば、増員され、医療環境が改善される(すさみ町)
- ・現状は脳梗塞や心疾患等の重篤患者の搬送に時間がかかっているため、高速道路ができれば助かる可能性が高くなる。(串本町)
- ・緊急医療では、南和歌山医療センターへの搬送は1時間30分を要するため、時間短縮が図られる(串本町)
- ・一枚岩や虫喰岩など日本の地形100選に選ばれた貴重な観光資源を活かした地域活性化が期待される(古座川町)
- ・複数の経路があれば、救援にも来ることが可能になる(那智勝浦・太地町)

【ルート検討に配慮すべき事項】

- ・災害避難ルートを想定した場合、海側ルートは概ね1km毎に避難路を設置できることになり、避難に時間を要さない(すさみ町)
- ・和歌山の観光は海と山だけなので、山側ルートではなく、町に隣接し、展望が良好である海側ルートが良い(串本町)
- ・震災による津波の影響を考えると山側ルートがよい。(古座川町)
- ・湿地帯には、貴重な動植物が生息しているため、盛土をせずに橋梁にしてほしい(那智勝浦・太地町)

【IC設置検討に配慮すべき事項】

- ・インターチェンジは複数設置していただきたい(串本町)
- ・インターチェンジは、串本の中心地や駅近くに設置してほしい(串本町)
- ・インターやサービスエリアをつくり、「古座川」の名まえをぜひ入れてほしい(古座川町)

ヒアリング状況(すさみ町)



ヒアリング状況(串本町)



ヒアリング状況(古座川町)



ヒアリング状況(那智勝浦町・太地町)



5. 地域代表者ヒアリングの結果

(2) 広域的な観点からの代表者の意見

- ・アンケート調査では把握できない広域的な観点からの意向や期待を把握し、今後の計画を検討する際に参考とすることを目的に地域を代表する企業等へのヒアリングを実施。
- ・ヒアリングは和歌山圏域、近畿圏域の2視点の圏域で、各々7組織と3組織に実施。

●ヒアリングでの意見(抜粋)

【対象地域の道路の課題】

- ・御坊～新宮間の移動で海岸沿いの国道42号では時間がかかるため、内陸部の国道311号を利用するが、冬期の積雪時など危険な時もある(和歌山県花き生産協会 元会長)
- ・津波等が生じた場合は国道42号で対応できず、内陸部の道路(国道425号や426号)は幅員が狭いため代替路にならない(和歌山県花き生産協会 元会長)
- ・紀南地方は観光産業が主となるものであるが、高速道路が無いため、ビジネスチャンスを逃している。(日進化学株式会社)
- ・平成23年9月台風12号の通行止めにより十津川村の観光客は4割減少している。何よりも災害に対して安全な道路が必要不可欠である。(十津川村観光協会)
- ・平成23年9月台風12号の被害では、十津川村では奇跡的に道路が1本だけ通行できたので、孤立化せずに済んだが、東海・東南海地震が発生すれば、十津川村も被害を受けることが想定される(十津川村観光協会)

【ルート検討に配慮すべき事項】

- ・費用対効果を考慮に入れつつ、利便性が高く、かつ防災上も有用となる道路の建設を期待(関西経済同友会)

【IC設置検討に配慮すべき事項】

- ・内陸部に行きやすい箇所に設置してほしい(北山村商工会)
- ・町に近いところがよい(明光バス株式会社)
- ・ハーフICでは、ICが近くにあっても(対応していない方面の場合)遠回りになり不便であるためフルICが良い(和歌山県花き生産協会 元会長)

【紀勢線が整備されることにより期待される効果】

- ・一大消費地である大阪と和歌山・三重地域間の物流網が整い、運搬に要する時間が大幅に短縮できることで、新鮮な農水産物の当日提供が可能になる(日本チェーンストア協会)
- ・「花」の生産は現在、日高・西牟婁地域に多いが、高速道路が出来れば串本地域まで普及できる可能性が高まる(和歌山県花き生産協会 元会長)
- ・地域産業製品の関西国際空港からの海外への輸出といった選択肢の拡大にも資する(関西経済同友会)
- ・熊野、勝浦温泉、新宮といった豊かな観光資源を有する地域へのアクセスが向上し、関西の観光ルートの選択肢が拡大する(関西経済同友会)
- ・和歌山県南部地域には観光資源がたくさんあり、ポテンシャルが高く、アクセスルートの選択肢が増えることによる、集客効果に期待(熊野ツーリズムビューロー)
- ・沿岸部だけでなく、内陸部の観光地にも効果がある(熊野ツーリズムビューロー)
- ・紀伊半島は関西の中でも特に優れた自然環境と古来の伝統的産業を継承する地であり、特に世界遺産や漁業・林業に培われた地元の営みは、世界の目にも優れた伝統文化並びに観光資源であるので、それらの活用は関西のみならず、我が国全体の課題でもあるインバウンドの拡大にも寄与するものと期待している(関西経済連合会)
- ・外国人観光客向けに、中部国際空港入国～伊勢付近泊～白浜付近泊～関西国際空港出国といった周遊ルートが現実味がでてきた(日進化学株式会社)
- ・高速道路ができれば運搬効率が良くなるため、衰退気味の林業にも効果がある(和歌山県花き生産協会 元会長)
- ・現在、白浜にきている観光客が串本方面へ流れてしまうことが懸念される。(明光バス株式会社)
- ・地域の主な観光地としては、串本、勝浦、新宮、本宮、熊野三山、那智の滝などがある。高速道路ができることにより、観光コースのバリエーションが増え、色々なバリエーションを考えることができる。山側ルートは集落に遠いので、集落の近くを通る海側ルートの方がメリットは大きい。(熊野交通株式会社)

6. アンケートの結果報告(速報版)

WG終了後、①WEBにチラシを掲載、②各市町からチラシを配布、により地域へアンケート結果を周知した。

アンケートへのご協力をありがとうございました すさみ～太地間の道路計画に関する意見募集アンケートの結果報告

国土交通省紀南河川国道事務所 和歌山県 すさみ町 串本町 古座川町 那智勝浦町 太地町

ホームページ <http://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/road/susami-enq.pdf> [印刷用紙](#) [検索](#)

近畿自動車道紀勢線 すさみ～太地間について、道路計画の検討を進めています。平成 24 年 6～7 月に実施したアンケートでは、皆様から約 10,000 件のご意見を頂き、誠にありがとうございました。この度、アンケート結果がまとまりましたので、ご報告をさせていただきます。今後、皆様からいただいたご意見を踏まえて第三者委員会で審議し、ルート帯を決定してまいります。

●ルート帯概要



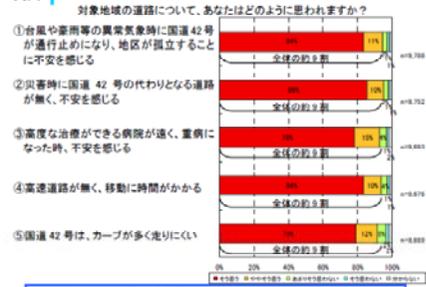
●アンケート調査結果の概要(速報)

実施項目	実施期間	回答方法	実施概要	回答状況
地域住民アンケート	平成24年 6月16日(土) ～7月1日(日)	① 郵送回収	21,078世帯中12,543世帯(無作為抽出)への郵送配布・回収	有効回答数: 6,623 (回収率53%)
		② 投函BOXによる回収	各町役場等に投函BOXの設置	有効回答数: 921 合計有効回答数: 7,544
道路利用者アンケート	平成24年 6月23日(土) ～7月1日(日)	① インターネットでの回答	WEBモニター会員を対象としたWEBアンケートを実施	有効回答数: 517
		② 道の駅での聞き取りアンケート	吉備湯浅PA、印南PA、道の駅(樺はなの湯、志原海岸、インフータンランドすさみ、なち)で聞き取りアンケートを実施	有効回答数: 589 合計有効回答数: 1,106
事業所・トラック協会 会員企業アンケート	平成24年 6月16日(土) ～7月1日(日)	郵送回収	和歌山県すさみ町、串本町、古座川町、那智勝浦町、太地町にある事業所(3,494事業所中1,997事業所)への郵送配布・回収 和歌山県トラック協会会員企業(482事業所)への郵送配布・回収	有効回答数: 1,377 (回収率56%)

アンケート結果に関するお問い合わせ 受付時間 平日 9:00～17:00
国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査第二課 TEL 0739-22-4814 FAX 0739-22-4574
MAIL otayori-kinan@kkr.mlit.go.jp

アンケート結果のご報告 回答数: 10,027 回答

質問1 現況と課題について



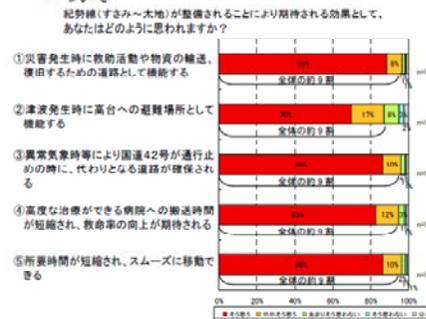
・全ての設問に対し、「そう思う」ど「ややそう思う」が全体の約9割の回答となった。
・自由意見としては、「早期整備を望む意見」が多い。

質問2 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)の必要性について



・災害に強く時間短縮効果のある道路は必要だと思ふ方が、全体の98%となった。

質問3 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)の効果について



・全ての設問に対し、「そう思う」ど「ややそう思う」が全体の9割以上の回答となった。
・自由意見では、「地域活性化」ど「早期整備への期待」に関する意見が多い。

質問4 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)のルート検討に配慮すべきこと



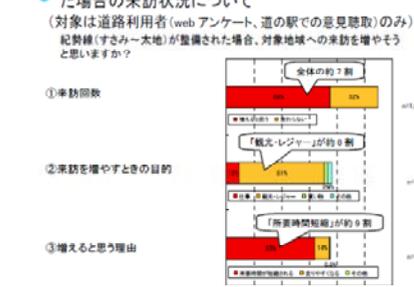
・全ての設問に対し、「そう思う」ど「ややそう思う」が全体の9割以上の回答となった。
・自由意見では、「早期整備に対する意見」が多い。

質問5 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)のインターチェンジ配置検討に配慮すべきこと



・「市役所や役場に近しいところ」を除く設問に対し、「そう思う」ど「ややそう思う」が全体の約9割の回答となった。
・「市役所や役場に近しいところ」の設問に対し、「そう思う」ど「ややそう思う」は約6割であった。

質問6 近畿自動車道紀勢線(すさみ～太地)が整備された場合の来訪状況について



・「来訪回数が増えると思う」が約7割である。
・「来訪を増やすときの目的は観光」が約9割である。
・「増えると思う理由は「所要時間が短縮される」が約9割である。